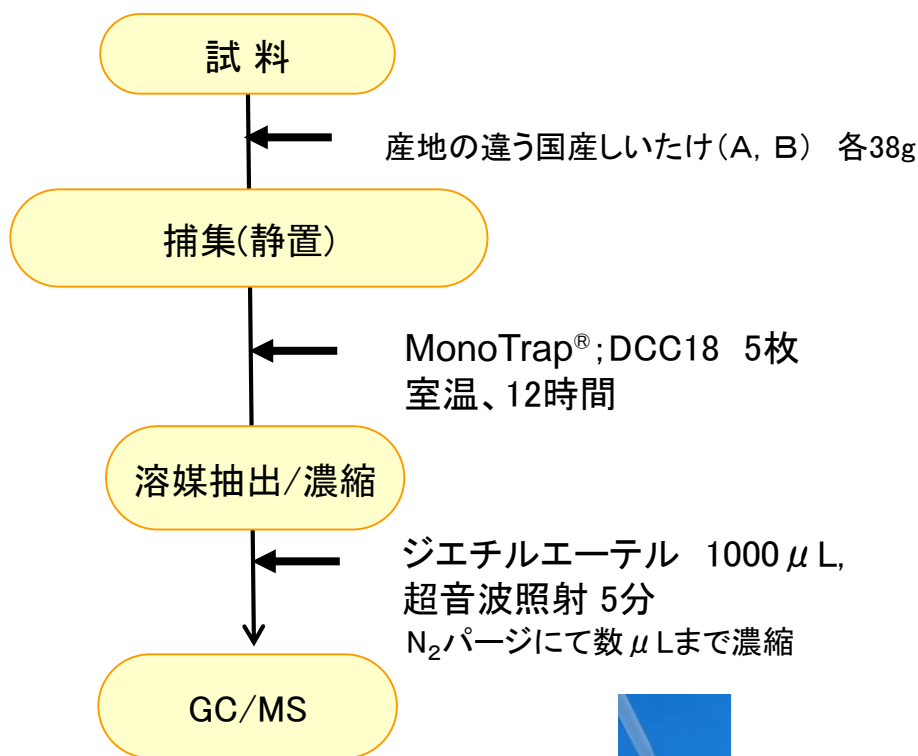


MonoTrap®は大きな表面積と、シリカゲル、活性炭、ODSの特性を併せ持つハイブリットな新規吸着剤です。多孔性シリカの表面を利用して、大きな表面積と活性炭含有による吸着剤効果を利用し捕集効率が高く、短時間、高感度分析が出来るツールとして利用できます。

今回は、MonoTrap® DCC18(活性炭含有)を用いて、産地(状態)の違う2種類のしいたけの香気成分の簡易濃縮分析をおこないました。1個あたりが低コストで、使用前のコンディショニングが不要ですので、複数検体を手軽に捕集することができます。

前処理の手順



③MT Extract Cup with Vial

GC条件

System : SHIMADZU GC-2010、GCMS-QP2010

Column : InertCap Pure-WAX
0.25mmI.D. × 30m df=0.25 μ m

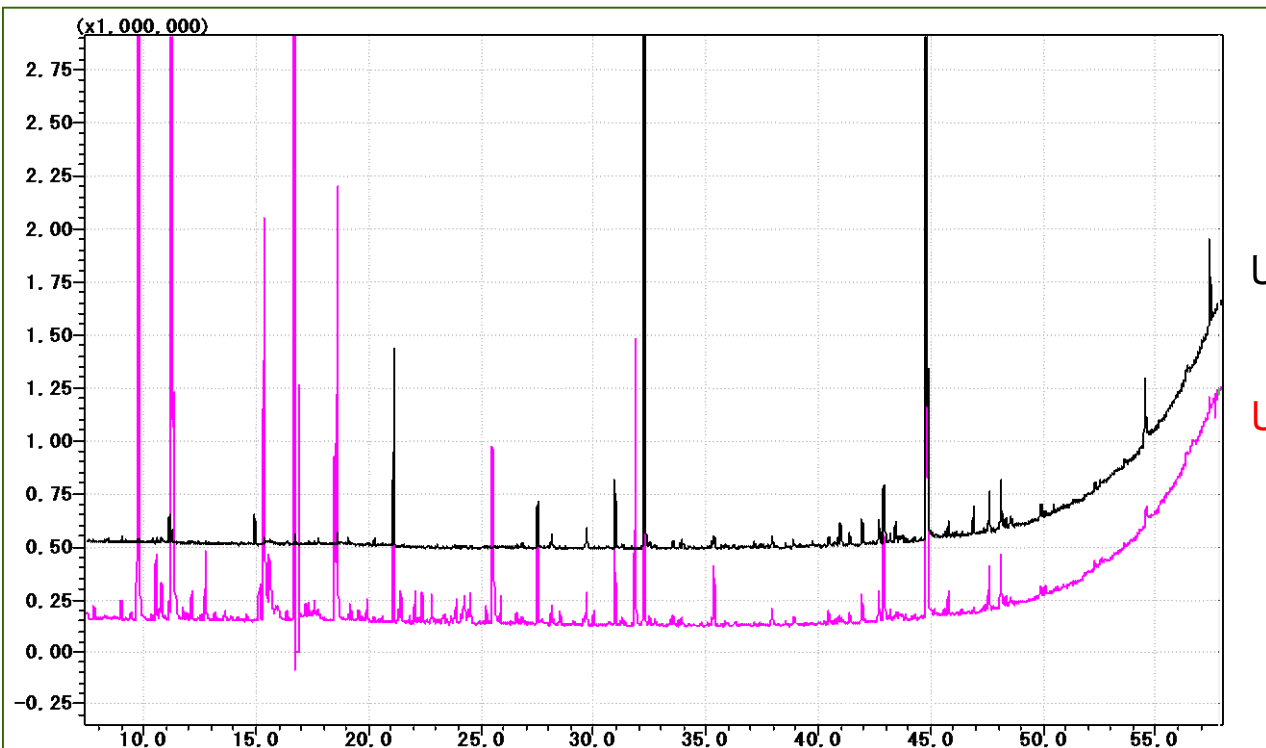
Column Temp : 40°C(5min)→4°C/min→250°C(5min)

GCキャピラリーカラム: **InertCap Pure-WAX** 0.25mmI.D. × 30m df=0.25 μ m
Cat.1010-68142 香気成分分析には最適なカラムです。
MonoTrap®と併せての御使用をお勧めします。

Carrier Gas : He 95kPa

Injection : Split 1:10, 1 μ L
250°C

Detection : MS Scan (m/z;25-450)



しいたけA

しいたけB

<主要香気成分の面積%による比較>

	しいたけA	しいたけB
1-Octen-3-ol	2.3%	4.5%
3-Octanol	1.7%	33.1%
3-Octanone	1.8%	35.8%
Dimethyl tris μ Lfide	1.7%	4.5%

参考文献・・・([食べ物]香り百科事典 日本香料協会編集)

実試料のしいたけAはよりフレッシュな状態でみずみずしく、しいたけBはよりドライな状態でしいたけの芳醇な香りが強い印象です。このような場合も、MonoTrap®で捕集することにより、GC/MSで確認することができます。



ジールサイエンス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿 6-22-1 新宿スクエアタワー 30F
TEL.03-5323-6611 FAX.03-5323-6622

※各試験法は、変更される場合がありますので、分析の前に確認されることをお勧めします。

データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しましては、当社が責任をおうものではありません。また、記載事項につきましては、予告無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

カスタマーサポートセンターでは、ノウハウのご提供と分析に関するフォローを行なっております。お困りの際には、カスタマーサポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

カスタマーサポートセンター (土・日・祝除く9:00-17:00)

☎ 04-2934-1100 ✉ info@gl.s.co.jp



【アプリケーションの検索はこちら】

https://www.gl.s.co.jp/technique/app/app_search.html